

〈令和4年度 仙台市立太白小学校 協働型学校評価改善活動に関する資料〉

家庭・学校・地域が三者協働でめざす児童像

協働型学校評価到達目標

互いを尊重し、認め合い、自分らしく生きる子どもの育成

協働型学校評価重点目標

- 自分のめあてを持って主体的に取り組む児童の割合を80%以上にする。
- 互いの考えや立場を尊重し、自分も友達も大事にする児童の割合を80%以上にする。

三者協働の取組について

よりよい姿の実現（重点目標の達成）

【地域における改善活動】

- 様々な場面を捉えて、積極的に子供たちへの声掛けや励ましをしていく。
- ボランティア活動やゲストティーチャー等で、これまでの知識や経験を子供たちに伝えていく。

【家庭における改善活動】

- メディアコントロール・読書タイムの推進
- 家庭学習への励まし
- 親子で一緒に家庭学習や読書に取り組む時間（読書、家庭学習、お手伝い等）を工夫していく。

【学校における改善活動】

- 「学習や生活のやくそく」の徹底
- 「めあて」と「振り返り」を意識した教育活動の推進
- 読書活動の推進
- GIGAスクール構想の推進
- リーダー・イン・ミーの取組